

佐賀労働局発表  
令和5年5月15日

## 【照会先】

佐賀労働局 労働基準部 健康安全課  
課長 貞木 竜成  
安全専門官 小宮 隆寛  
電話 0952 (32) 7176 (直通)

## 死傷者数は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅増加 新型コロナウイルス感染症によるり患を除くと微減

### ～令和4年（2022年）県内の労働災害の発生状況～

佐賀労働局（局長 重河真弓）は、県内における令和4年の労働災害発生状況を取りまとめました。

#### 令和4年の労働災害の特徴として、

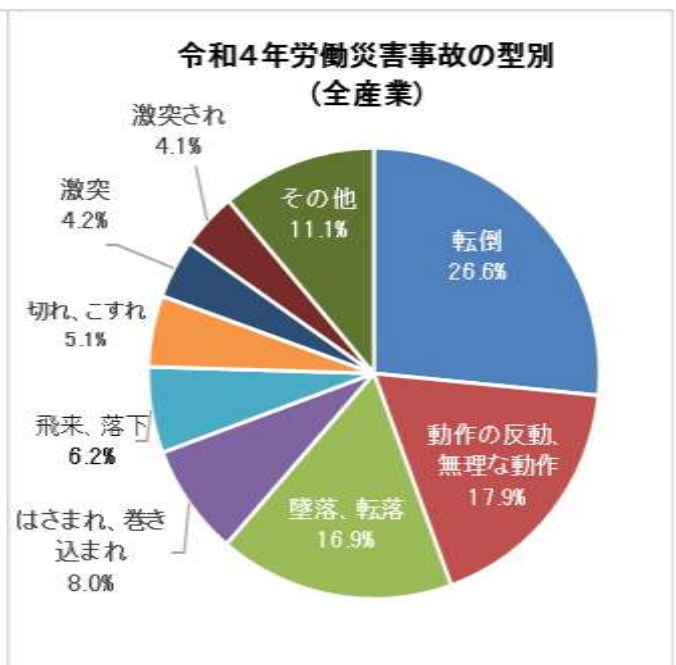
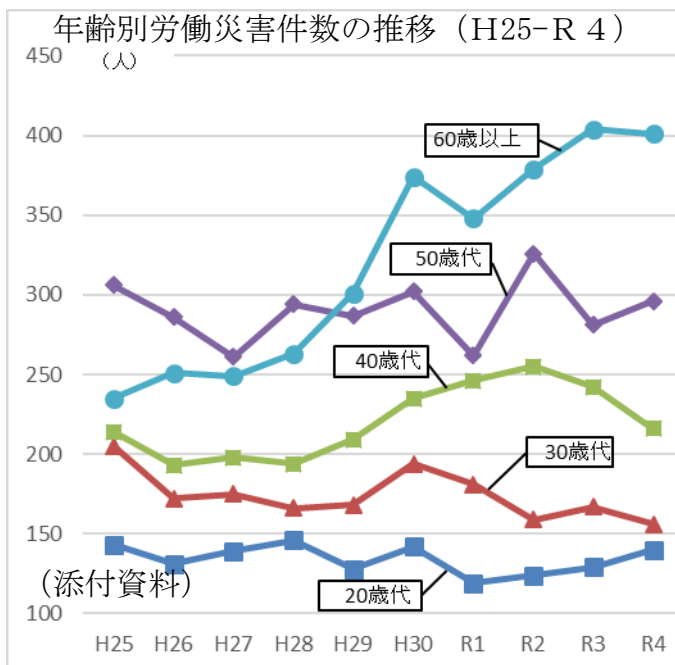
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、労働災害による死傷者が3,056人と大幅に増加した。（対前年比1,678件増、121.8%増）（資料1、資料2参照）
- ・ 死亡災害は減少し、すべて建設業において発生した。（4件発生、対前年比2件減）（資料2、資料3参照）

#### また、新型コロナウイルス感染症によるり患を除いた労働災害の特徴として、

- ・ 死傷者は1,231人とやや減少した。（対前年比13件減、1.0%減）（資料4、資料5参照）
  - ・ 60歳以上の高年齢労働者による労働災害が多発した。（60歳以上の労働災害：401件発生、全体の32.6%）（下記資料（左）、資料6参照）
  - ・ 「転倒」（327件発生、全体の26.6%）、「動作の反動、無理な動作」（220件発生、全体の17.9%）など行動災害が多発した。（下記資料（右）、資料6参照）
  - ・ 製造業（316件発生、対前年比7.8%増）、建設業（174件発生、対前年比27.9%増）などにおいて、労働災害が増加した。（資料1、資料5参照）
- ことが挙げられます。

※死傷者数は、休業4日以上労働災害を対象

（新型コロナウイルス感染症によるり患を除く）



- 資料1 佐賀県内における業種別労働災害の推移（コロナ入り、コロナなし）
- 資料2 令和4年業種別署別労働災害発生状況（コロナ入り）
- 資料3 佐賀県内における死亡労働災害の概要（コロナ入り）
- 資料4 佐賀県内における労働災害の推移（コロナなし）
- 資料5 令和4年業種別署別労働災害発生状況（コロナなし）
- 資料6 令和4年各種統計資料（全産業、コロナなし）

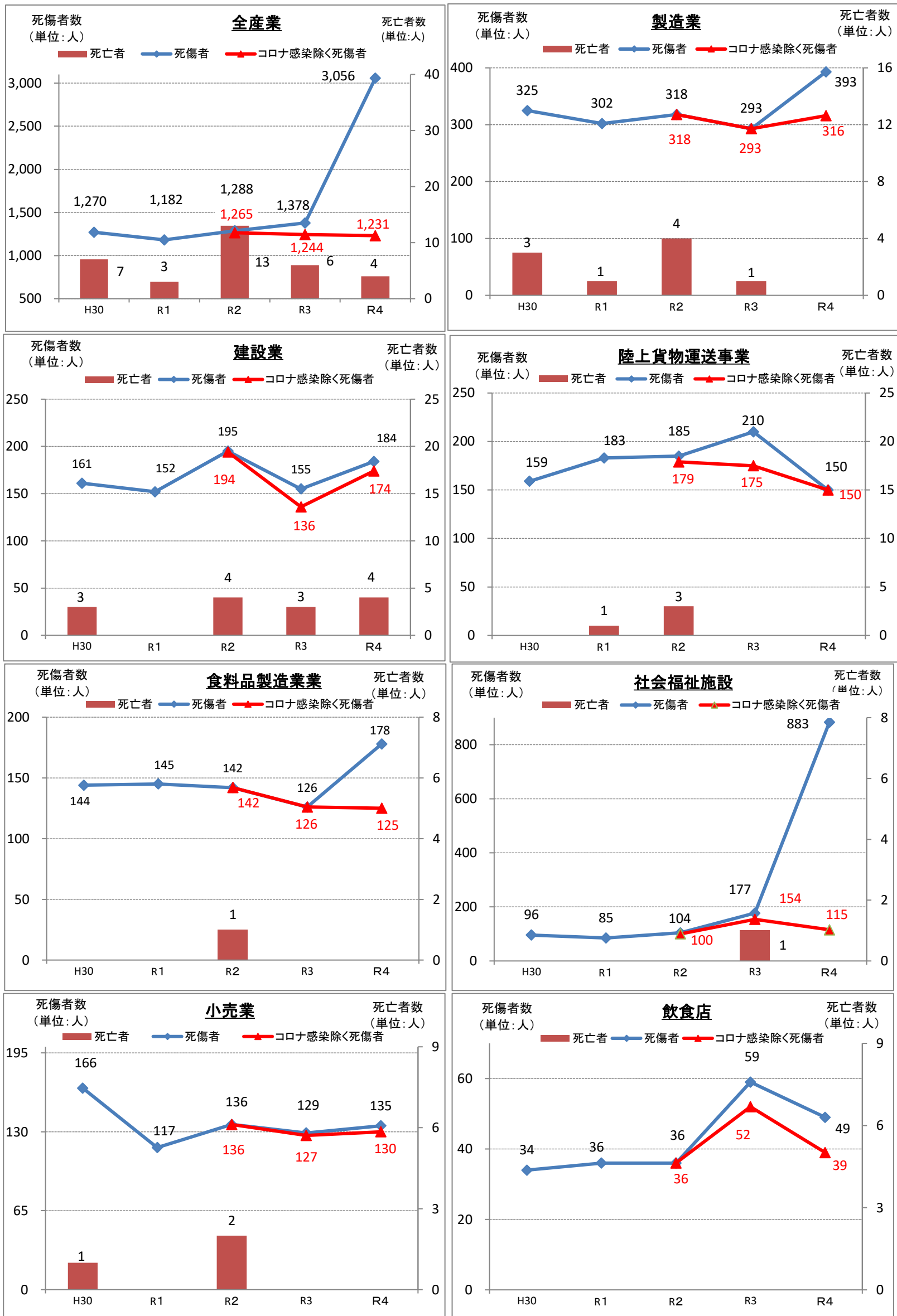
※ 新型コロナウイルス感染症によるり患を含む場合は「コロナ入り」  
新型コロナウイルス感染症によるり患を除く場合は「コロナなし」と表記

(参考) 令和5年4月28日報道発表資料  
「佐賀労働局 第14次労働災害防止計画を策定しました」



(QRコード)

## ○佐賀県内における業種別労働災害の推移(平成30年～令和4年)



資料:労働者死傷病報告(休業4日以上)



## 令和4年 佐賀県内における死亡労働災害の概要

番号	業種	管轄署	発生日 時刻	被災者 年齢	事故の型	起因物	発生状況
1	建設業	佐賀署	R4.5.6 13時45分頃	男 60歳代	激突され	不整地運搬車	農地の畦道の造成工事を施工中、被災者とは別の労働者が不整地運搬車を運転して隣接する農道を通り移動しようとしていた際、近くにいた被災者が運転を代わろうとし、同車の前方を通過しようとしたところ、同車が前進し被災者に激突し、農道に隣接する水路へ車両ごと転落した。
2	建設業	武雄署	R4.5.13 16時00分頃	男 70歳代	墜落・転落	建築物、構築物	機械設備の撤去のため、高さ3.2mの架台上で架設通路を取り外す作業中、架台の小梁に足をかけたところ、小梁と架設通路を固定するボルトが外されていたため小梁が外れ、コンクリート床面に墜落した。
3	建設業	佐賀署	R4.9.15 10時35分頃	男 60歳代	墜落・転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	民家倉庫のスレート屋根改修工事において、スレート屋根に上り、補修箇所の寸法を計測していたところ、当該スレート屋根を踏み抜き、高さ約4.7m下のコンクリート床面に墜落した。
4	建設業	佐賀署	R4.10.11 13時07分頃	男 40歳代	崩壊、倒壊	基礎工事用機械	移動式クレーンを用いた鋼矢板の打設作業中、重量約700kgの矢板をつり上げ棚杭に仮設後、玉掛け用ワイヤーロープを外し、振動式杭打機により矢板頭部を挟み込もうとしたところ、矢板が倒れ、付近で作業していた被災者の頭部に激突した。

## 【参考】令和5年 佐賀県内における死亡労働災害の概要

令和5年5月10日現在

番号	業種	管轄署	発生日 時刻	被災者 年齢	事故の型	起因物	発生状況
1	建設業	伊万里署	R5.3.9 3時20分頃	男 60歳代	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク	道路工事のため片側交通規制を行っていた片側一車線の道路において、道路工事作業が終了したため、被災者はクッションドラム等の交通規制用具等を工事規制車両(トラック)に載せる作業を行っていたところ、被災者の後方から、交通誘導員の誘導を無視して現場内に進入した乗用車に激突された。
2	製造業	伊万里署	R5.3.30 16時00分頃	男 50歳代	はさまれ、巻き込まれ	旋盤	被災者は、立旋盤を使用して、一人で金属部材の加工作業を行っていたが、その後、可動する立旋盤の構造部材と立旋盤と一体となった点検用足場の間に首を挟まれた状態で発見され、その後死亡が確認された。

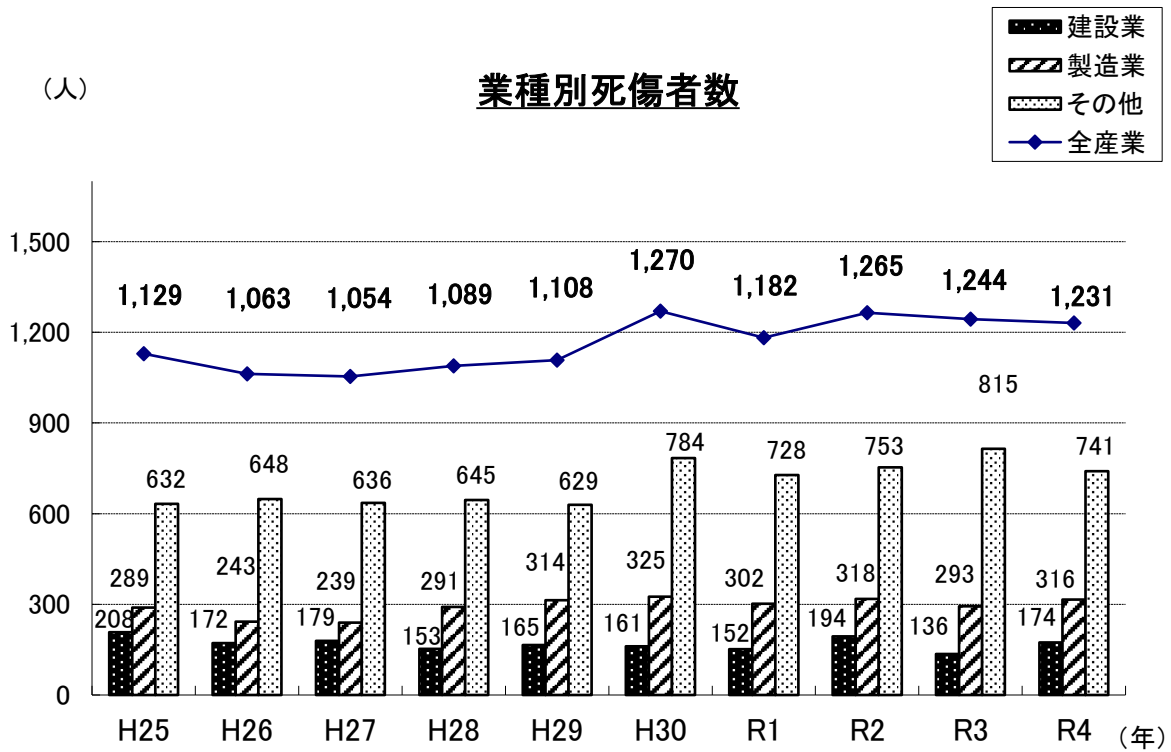
※表中の業種、業務上外等については、未確定のものも記載している。

# 佐賀県内における労働災害の推移

(新型コロナウイルス感染症によるり患を除く)

(人)

## 業種別死傷者数



(人)

## 業種別死亡者数

